

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

教養ゼミ	世羅大豊農園	世羅幸水農園	世羅 民宿 高光	安芸太田町 地域おこし協力隊	安芸太田町 地域おこし協力隊
良かったところ	いつもは高校生・中学生を対象に話すことが多いが、広大生には話が通っていく感があった。質問も学生らしくて勉強になった。交流の中で、農村・農業への理解を深めてもらえた。				
改善点	実習等、一部に積極性の無さを感じた。作業の大変さを味わってほしい。 お手伝いではなく、もっと仕事としての意識を持って取り組んでほしい。				

インターンシップ	世羅大豊農園	世羅幸水農園	世羅 民宿 高光	安芸太田町 地域おこし協力隊	安芸太田町 地域おこし協力隊
良かったところ		時期は梨の収穫時期でちょうどよかった。		他学部(生物生産以外)の参加	体験会など一日の手伝いと異なり、地域の方々と学生が共生・協働することができ、井仁への理解がより深まり、かつ地域への貢献度も高く良いものだと思う。また、インターンシップに参加した学生が自主的に来てくれたこともあるので、学生が地域で活動するきっかけにもなって良かったと思う。
改善点			もう少し早めのアンケート等をお願いします。	早い時期、4月ごろまでに案内が出せる状況まで話し合いをしておきたい。	学生たちにとって、井仁でのインターンシップに参加して良かったと思えるような内容を検討する必要がある。また、地域の人たちにもより協力してもらえるような地域の体制をつくる必要があると思う。

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

広大との連携	世羅大豊農園	世羅幸水農園	世羅 民宿 高光	安芸太田町 地域おこし協力隊	安芸太田町 地域おこし協力隊
良かったところ		世羅町六次産業ネットワークで取り組んでいる民宿、農業体験など進めるうえで(町でも進めている)参考になった。		過去の積み重ねもありスムーズに進んだ。	
改善が必要なところ		1回ぎりのインターンシップ受入れでなく、同じ生徒さんが毎年数回世羅に来られるような授業になれば、もっと世羅がわかり、もっと多くの提案がいただけたらと思います		インターンシップは初めての取り組みのため、今後話し合っていきたい。	インターンシップについては、これまで以上に連携しながら取り組む必要がある。
連携が強くなったところ		梨作りの中での苦労がわかってもらえた。大学へも何か手助けしてもらえそうな気がしてきた。		補助金の活用を双方が考えて行ったこと	個人で訪問する人が出てきたところ
地域貢献の人材が増加すると感じる理由	農業・農村への関心が今一つ薄いように思う。	私たちの農業(地域)を真剣に勉強していただいて、若い目で見つめた問題点を提案していただいた。		今の大学1年生・2年生から、来年・再来年の学生が勉強できるため	地域に深く関わってくれる人材を見つけることができる取り組みであると思う。

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

教養ゼミ	井仁 自治会	井仁 自治会	大長 末岡氏	大長 大亀氏	JA芸南 中岡 昇氏
良かったところ			体験授業の内容を事前に、連絡がしっかりとあり、受け入れ方は助かります。内容に対しての学生さんへの準備もしっかりとしていることがうかがわれます。	単位人数、体験の大切さ、物事の苦勞を知ること。	積極的に進める態度は良かったと思います。時間後の質問についても、同様に積極的に疑問点の発表があり、良かった。
改善点				初め、中間、結果を知ることが大切だと思う。事前に少しでも内容について本などで勉強をし、質問と疑問をもって臨んでほしい。	作業の理解について、事前学習がやや不足では。

インターンシップ	井仁 自治会	井仁 自治会	大長 末岡氏	大長 大亀氏	JA芸南 中岡 昇氏
良かったところ	学生さんの報告書を読ませていただき、予想以上に、自分自身への意識改革やスキルアップと問題意識につなげていただいているようで、安心すると同時に、地域への貢献の姿勢に感謝します。	何事も一生懸命に務めてくれた。		諸外国と比較してインターンシップの内容は様々みたいだけど、私は、まずは一つの仕事ではなく、地域の全体像を知ってほしいと思い、インターンシップとは少しかけ離れた感があったが、本人が世界観が変わったと言ってくれて、本当に良かったと思う。	
改善点	地域として、もっと事前調整して、地元の参加人数の確保等をする必要があった。特に、オリエンテーションやワークショップ、交流会など。	学生の中には何のために井仁地区に来たのか目的がはっきりしていなかった人もいた。受入側として、インターンシップの目的、めざすところを理解することができなかった。		別に改善が必要うんぬんはわからないが、受け入れ側と学生の息が合えばいいのではと思う。	

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

広大との連携	井仁 自治会	井仁 自治会	大長 末岡氏	大長 大亀氏	JA芸南 中岡 昇氏
良かったところ				体験授業から他方面への繋がり等、多方面に広がりつつある。	地域の産業理解ができてたいへん良かったと思います。
改善が必要なところ	行政、地域おこし協力隊が主体になり過ぎて、地元受入側のインターンシップへの理解不足。(普通のボランティア活動と解釈)			卒業する学生が下級生などによりしっかりと地域と連携する目的等を伝えてほしい。	
連携が強くなったところ	大学側が取り組んでいることへの理解度。地域としてはありがたい。			我々が多数の教授と知り合うことができたこと、また、学生を通してもっと幅広い交流関係を我々自身目指したくなりつつあること。	地域との産業(地場産業)を広報に役立っていると思う。
地域貢献の人材が増加すると感じる理由	地域に入って現状を体験するだけでも、十分視野が広がり、将来何らかのプラスになると思う。			学生の田舎に対しての思いetc全く知ることができなかったのが、交流によって、案外と自分自身の思いとは違う部分も発見できたということ。そして、我々も地域を理解してもらえるよう、正面からぶつかる必要性も感じている。	高齢化に伴う地域に若い者が意欲があり、後継に望みが出てくると思います。

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

教養ゼミ	JA芸南 中岡 千春 氏	JA芸南 江村氏	JA 芸南 土居氏	太田川漁業組合	大崎上島 海藻塾
良かったところ	積極的に取り組んでいた。	学生が思った以上に積極的に感じました。	学生と生産者が自由に意見を交換する場が持てたこと。生産者の生産意欲が向上したこと。	事前の資料や予定などを大学側で準備していただけたこと。日頃なじみのないことに関心を持ってもらえる取り組みだったこと。	大崎上島の存在と知ってもらったところ。海藻の種類が多く観察できるのは、年度の境目(2月～4月頃)なので、少し残念ではありますが、6月実施は年間スケジュールからやむをえません。
改善点	収穫だけでなく一の段階から始めてほしい。	体験の授業の時間をもう少し長くできれば良いと感じました。	もう少し時間をかけて生産・販売に携わってほしいです。特に販売/調理面で学生の自由な発想を産地に提案していただくコンテストなどがあればうれしい。	生徒さんの自主性をだせる内容づくり	

インターンシップ	JA芸南 中岡 千春 氏	JA芸南 江村氏	JA 芸南 土居氏	太田川漁業組合	大崎上島 海藻塾
良かったところ					
改善点					

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

広大との連携	JA芸南 中岡 千春 氏	JA芸南 江村氏	JA 芸南 土居氏	太田川漁業組合	大崎上島 海藻塾
良かったところ			学生が長期休みのときに農業体験学習として受け入れを行いたい。		コーディネーターがうまく機能してくれたところ。
改善が必要なところ					
連携が強くなったところ			事務局のきめ細やかで柔軟な対応に非常に満足。近場でもあるのでどんどん連携を図っていきたい。		大学祭でのコラボマルシェの実施等へと繋がった。
地域貢献の人材が増加すると感じる理由		現在、学生サークル「田口虫」が援農ボランティアへ参加し、土曜日に作業してもらっているので、この授業を通じて、ボランティアへ参加してくれればと思っています。	農業サークルの田口虫など定期的に援農体験に訪れてくれる。今後は販売面など援農以外の活躍の場を提供したい。	知らなかったことを知り、関心を持ってもらえたと思うから。	百間は一見に如かずで、現地で体験することが一番である。瀬戸内海の環境変化(ゴミ、磯焼け現象等)を自分の目で確認できることで興味を持ってくれる学生がいるのではないか。

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

教養ゼミ	大崎上島町 金原農園
良かったところ	参加学生数は適正、授業を受ける態度は感心するほど良い。
改善点	授業回数が少なく、体験時間がやや少ない。実施時期は1回目は現状で良い。できれば、2回目は時間が少なくても、みかんの収穫時期11月下旬～12月上旬。私以外の生産農家と対話させてあげたい。

インターンシップ	大崎上島町 金原農園
良かったところ	夏休みか冬休みが良いと思う。私のところは冬休みも良いと思う。どちらでも受け入れる。
改善点	期間は4～5日が良く、人数は2～3人が良い。

平成27年度 教養ゼミ・地域志向インターンシップ 受入れ地域アンケート

<p>広大との連携</p>	<p>大崎上島町 金原農園</p>
<p>良かったところ</p>	
<p>改善が必要なところ</p>	
<p>連携が強くなったところ</p>	
<p>地域貢献の人材が増加すると感じる理由</p>	<p>インターンシップによって大崎上島町を知る。このことは地域との交流が始まり貢献場面は増加する。</p>